



第335号
2004年(平成16年)
12月10日
発行 明治大学
編集 明治大学広報部
TEL 03(3296)4083
E-mail: koho@mics.meiji.ac.jp
東京都千代田区神田駿河台1-1 (〒101-8301)
<http://www.meiji.ac.jp/>

ラグビー部宿敵早大に苦敗 健闘およばず、対抗戦3位

明 大	
FW	1 阿部 祐也 (政経3)
	2 杉本 剛章 (商2)
	3 挿間 辰弘 (商3)
	4 雨宮 俊介 (商1)
	5 田中 淳介 (政経2)
	6 延川 章二 (文4)
	7 趙 顯徳 (商1)
	8 日和佐 豊 (経営2)
HB	9 藤井 淳 (政経4)
	10 齊藤 玄樹 (法3)
TB	11 加藤 郁己 (政経4)
	12 高野 彰夫 (商3)
	13 山崎 智之 (政経4)
	14 游島 悠輔 (政経2)
FB	15 黒木 孝太 (文3)
早 大	
FW	1 諸岡 省吾 (4)
	2 青木 佑輔 (3)
	3 伊藤 雄大 (4)
	4 内橋 徹 (4)
	5 桑江 崇行 (4)
	6 古島 直 (4)
	7 松本 允 (3)
	8 佐々木隆道 (3)
HB	9 後藤 翔太 (4)
	10 安藤 栄次 (4)
TB	11 首藤 甲子郎 (2)
	12 菊池 和氣 (4)
	13 今村 雄太 (2)
	14 小吹 和也 (3)
FB	15 五郎丸 歩 (1)



早大ディフェンスを振りきるSO齊藤玄樹

今年で80回目を迎えた伝統の明早戦が12月5日、国立競技場で行われ、明大は19-49(前半7-21)で早大に敗れた。この結果、早大が対抗戦4年連続の優勝。明大は3位となった。12月19日に開幕する全国大学選手権、8年ぶりの王座奪還を目指す明大は初戦で大体大(関西3位)と対戦する。

2004関東大学ラグビー対抗戦A勝敗表(全日程終了)

順	大学名	試	勝	負	早	慶	明	帝	筑	体	立	青
1	早 大	7	7	0	○	○	○	○	○	○	○	○
2	慶 大	7	5	2	●	○	○	○	●	○	○	○
3	明 大	7	5	2	●	●	○	○	○	○	○	○
4	帝京大	7	4	3	●	●	●	○	○	○	○	○
5	筑波大	7	3	4	●	○	●	●	●	●	○	○
6	日体大	7	2	5	●	●	●	●	●	○	○	●
7	立 大	7	1	6	●	●	●	●	●	●	○	○
8	青学大	7	1	6	●	●	●	●	●	●	●	●

この日の明大は前評判の高い早大のFWに対し、果敢にFW戦を挑んだ。マイボールのラックからすぐにBKに展開するのではなく、モールを組んで何度もタテへの突進を試みる。前半の終了間際も相手ゴール前からスクラムトライを狙いにいった。結果的には早大FWに力負けした感は否めないが、スタメンに2年生が3人、1年生が2人と若いだけに、短期間でさらに伸びる可能性を秘めている。今シーズンの明大は、この試合でFWの成長次第では大学選手権制壊力抜群のBKが控える。今後のFWの成長次第では大学選手権制

明大 19 (7 | 21) 12 - 5
12 | 28) 49 早大

この日の明大は前評判の高い早大のFWに対し、果敢にFW戦を挑んだ。マイボールのラックからすぐにBKに展開するのではなく、モールを組んで何度もタテへの突進を試みる。前半の終了間際も相手ゴール前からスクラムトライを狙いにいった。結果的には早大FWに力負けした感は否めないが、スタメンに2年生が3人、1年生が2人と若いだけに、短期間でさらに伸びる可能性を秘めている。今シーズンの明大は、この試合でFWの成長次第では大学選手権制壊力抜群のBKが控える。今後のFWの成長次第では大学選手権制

明治・早稲田・慶應・東京高師の四校で争われ、「四大校駅伝競走」と呼ばれた▼『明治大学競走部七年史』によれば、第一回大会では、明治大学は往路を制したものの、総合ではトップの東京高師と並にたち、最終一〇区までその座を一度も他校に譲らない「眞の完全優勝」を達成▼そして今、「十四年間お待たせしましたが、箱根出場の夢を実現できました。皆様の支えと応援のおかげです」と、幸田高明主将(政経3年)は『明大スポーツ』のインタビューに答えていた▼このところテレビ観戦が続いたが、今度はどこで応援しようかと今から胸を弾ませている。今後は途絶えることなく、お正月の恒例の行事として定着させて欲しいと願う。選手諸君と関係者の健闘を祈る。

点

少し気が早いと言われそうだが、お正月が楽しみだ。「東京箱根間往復大学駅伝大会」いわゆる箱根駅伝に、わが明治大学が14年ぶりに出場するからだ▼1912(明治45)年のストックホルム・オリンピックに出場し、「マラソンの父」とも言われた金栗四三(東京高等師範=現・筑波大学)が、マラソンの普及と記録向上を願って関東の各大学等に呼び掛けて実現したのが、箱根駅伝である▼第一回目は1920(大正9)年、明治・早稲田・慶應・東京高師の四校で争われ、「四大校駅伝競走」と呼ばれた▼『明治大学競走部七年史』によれば、第一回大会では、明治大学は往路を制したものの、総合ではトップの東京高師と並にたち、最終一〇区までその座を一度も他校に譲らない「眞の完全優勝」を達成▼そして今、「十四年間お待たせしましたが、箱根出場の夢を実現できました。皆様の支えと応援のおかげです」と、幸田高明主将(政経3年)は『明大スポーツ』のインタビューに答えていた▼このところテレビ観戦が続いたが、今度はどこで応援しようかと今から胸を弾ませている。今後は途絶えることなく、お正月の恒例の行事として定着させて欲しいと願う。選手諸君と関係者の健闘を祈る。

【ウェニスの商人】の公演を終えて

2004年度共通総合講座コーディネーター・佐藤正紀(文学部教授)

カーテンコールに応える学生たち



▶プロ製作の本格的な舞台セット

去る11月11日と13日にアカデミー コモン内のアカデミーホールで、『ヴェニスの商人』(シェイクスピア作)の公演が行われた。11日は開場直前に小雨含みの空模様だったにもかかわらず、ホール1階席はほぼ満席。演出上、使用しない予定の2階席にも相当数の観客が入って総計約800人の盛況だった。13日も同じく約800人、学生演劇では異例の観客数を得ての上演だった。

劇場という場が帯びる不思議な力の働きだろうか、舞台上の学生諸君は満席の観客にたじろぐどころか、むしろそれに鼓舞されたかのように伸び伸びとした熱演振りで、観客に応えた。彼らの創り出した舞台に、観る人々がどれほど

引き込まれたかは、当初は予想していなかった再三のカーテンコールに、演劇経験が初めてという学生諸君を含む舞台上の「俳優」たる喜ばしい「文化プロジェクト」の立ち上がりと言える。

この企画の実現に至るまでの経緯は、公演パンフレットにも記したが、それを手にした学生諸君は数百人だろう。なにしろ観客の半数以上が、父母や校友、その他の社会人だったからだ。そこで、ここにその経緯を略記しておきたい。

是非、上演したいという声が上がったのは、今年の前期も終わるごとに伸び伸びとした熱演振りで、観客に応えた。彼らの創り出した舞台に、観る人々がどれほど

上場する。

劇場という場が帯びる不思議な力の働きだろうか、舞台上の学生諸君は満席の観客にたじろぐどころか、むしろそれに鼓舞されたかのように伸び伸びとした熱演振りで、観客に応えた。彼らの創り出した舞台に、観る人々がどれほど

上場する。

是非、上演したいという声が上がったのは、今年の前期も終わるごとに伸び伸びとした熱演振りで、観客に応えた。彼らの創り出した舞台に、観る人々がどれほど

上場する。



それが筑摩文庫から出版されている松岡和子氏の経験談。また、これまで幾多のシェイクスピア上演に記した。

14年ぶりに箱根駅伝出場を決めた体育会競走部の壮行会が11月26日、納谷廣美総長兼学長長吉理事長はじめ大学関係者出席のもと、競走部からは15名の選手ほか松本穂競走部部長(商学部教授)、遠藤和生監督、西弘美ヘッドコーチらが参加して駿河台校舎リバティホールで行われた。ホール入口では競走部のユニフォームの「M」の文字をあしらった応援用の小旗が

配布され、約400名の学生、教職員が集まつた。まず挨拶に立った納谷總長兼学長は「私も(1月)2日の朝から3日の最後まで応援に行きます。ぜひ、みんなで彼らの応援をしましょう。選手も全力を挙げて悔いのない走りをしてください」とエールを送った。続

く語った。その後、遠藤監督、西コーチへのインタビューが行われ、遠藤監督から14年前の襷(タスキ)が行方不明になり、新しい襷を新調したという秘話や西コーチによる「箱根駅伝を10倍楽しむ方法」などが語られた。さらに、選手紹介、本戦での着用が許される伝統の紫紺のユニフォームが披露された(写真)。

最後に入山卓司・長距離ブロッケ長(経営4)が「新しい襷を絶対無くさないよう(会場大爆笑)感謝の気持ちをこめて繋いでいきたいと思います。沿道で笑)感謝の気持ちをこめて繋いでいきたいと思います。沿道では「メイジガンバレー!」と応援よろしくお願いします」と挨拶。恒例の応援団による紫紺の歌、校歌に続き「勝つぞ、勝つぞ、メイジ!」「フレッ、フレッ、メイジ!」のエールで壮行会は幕を閉じた。

がんばれ、競走部／目指せシード権!!

壮行会を開催



とを願う。

大学主催の「明治大学文化プロジェクト」の第1回として『ヴェニスの商人』(シェイクスピア作)が今後、どう発展するかは、

次々と現場に翻訳台本を提供し、それが筑摩文庫から出版されている松岡和子氏の経験談。また、これまで幾多のシェイクスピア上演に記した。



▶端艇部初の女性部員（入学当時）

そんな生活も半年もする頃にはすっかり慣れ、ボート部仲間、30名の男たち：との共同

これまで聞いたこともなかつたカヌーというスポーツを始めたのは入学した高校がたまたま川のほとりに建っていたから。毎日珍しい船が川に浮いているのを見かけ、新入生試乗会に参加したのがきっかけでした。そこで”日本代表”という、幸か不幸か、これまで聞いたこともない言葉を耳にし、入れば外國



▶3年時に出場した全日本選手権

[写真提供・明大スポーツ]

カヌーを通して 足立 美穂 第3回（全4回）

第3回目は、カヌーをはじめたきっかけと、合コンに行く暇もなかつた学生生活について振り返りたいと思います。

これまで聞いたこともなかつたカヌーというスポーツを始めたのは入学した高校がたまたま川のほとりに建っていたから。毎日珍しい船が川に浮いているのを見かけ、新入生試乗会に参加したのがきっかけでした。そこで”日本代表”という、幸か不幸か、これまで聞いたこともない言葉を耳にし、入れば外國

これまで聞いたこともなかつたカヌーというスポーツを始めたのは入学した高校がたまたま川のほとりに建っていたから。毎日珍しい船が川に浮いているのを見かけ、新入生試乗会に参加したのがきっかけでした。そこで”日本代表”という、幸か不幸か、これまで聞いたこともない言葉を耳にし、入れば外國

に行けるんだ…とその後10年間、毎日船を漕ぎ続けることになりました。高校時代はとっても厳しい？ 恩師の下、カヌーが強くても勉強ができないれば、礼儀ができないればどこでもつかれ、逃げ場のない生活を必死で送ったように思っています。

それでもやっている種目が全くこれまで聞いたこともなかつたカヌーというスポーツを始めたのは入学した高校がたまたま川のほとりに建っていたから。毎日珍しい船が川に浮いているのを見かけ、新入生試乗会に参加したのがきっかけでした。そこで”日本代表”という、幸か不幸か、これまで聞いたこともない言葉を耳にし、入れば外國

カヌーとの出会い・

生活も楽しめるようになりました。違うので、年に5回の試合の遠征足音を聞くだけで誰が歩いている。や練習はいつも一人でした。日本

メートができない：孤独感で練習には随分とかわいがってもらつた



◆足立美穂（あだち・みほ）

02年商学部卒。アテネ五輪女子カヤックフォア500m9位（カヌー競技日本女子初の決勝進出）。戸田中央総合病院附属看護専門学校職。大分県出身。

メートができない：孤独感で練習には随分とかわいがってもらつた

旅行に行ったりする余裕はありません。日々を送りまし

た。もちろん、練習が気になつて、

それでもやっている種目が全く正面から突き進むこと、進むしかないということを学びました。こんな切ない？ 高校生が明治に受け入れてくれるようになったからで、自分から取り組むことによって、ボート部のテーマ、「自由の中で自己の確立、自立」について頭を悩ます毎日でした。この4年間で何度もレポート書いたでしょう

か：監督が合宿所に一緒に生活しているという、突拍子もないこの部において、この様な生活は日常生活で、多くのことを考えさせられた学生生活でした。学校での勉強で覚えてること…はあまり思いつきませんが、この生活の中で、勇気を持って何ごともチャレンジし、自分の意志で自己を確立していくこうとすることの意味を自然と教えられたように思います。自由の厳しさを知ったのもこの生活があつたからです。基本的に合宿所生活は何ごとも自由です。自由

こと、これが私がカヌーにもじめて自分の目標（願い）が叶ふことを発見し、進歩する。そして続けることによって、仲間や周りに人が集まり目標が達成される。頑張っていれば自然と人は集まります。助けてくれる、応援してくれる人がいては

うこと学んだと思います。

たくさんの大切な人に出会えたこと、これが私がカヌーにもじめた財産です。

今年もあと20日。来年もいい1年にしたいのですね！

お便り、ご感想をお待ちしています。

①学部②学年③氏名④性別を明記。
明治大学広報部『学園だより・カヌーを通して』係
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1-1
koho@mics.meiji.ac.jp

『明治大学学園だより』はホームページでも読むことができます
<http://www.meiji.ac.jp/koho/information/pr/gakkuendayori/index.html>



第9回 明治大学学長杯 留学生日本語スピーチコンテスト

アーマド・シュクリ・ビン・ズルキフリ君
(理工学部4年、マレーシア) が学長賞受賞!!

「第9回明治大学学長杯留学生日本語スピーチコンテスト」が11月13日(土)に開催された。出場した20名の留学生は学部1年生から博士後期課程の大学院生までと幅広く、各々が2、3名の日本語アドバイザー(64名の学生ボランティア)とチームを組んで5ヶ月前から原稿の用意を始め、直前までスピーチ練習を重ねるという、地道で周到な準備が本番での見事なスピーチとなつて聴衆の心を惹きつけた。また、学生ボランティアが実行委員会を組織し、広報活動、プログラム作成、司会、会場作り等の一切を兼務してコンテストを支えた。本号では学長賞受賞者のスピーチ内容を紹介する。また、国際交流センター所長賞、連合父母会長賞の受賞者2名のスピーチ内容は次号掲載予定。

学長賞 日本の近代化と文化の調和

アーマド・シュクリ・ビン・ズルキフリ
理工学部4年・マレーシア

皆さんこんにちは。今日僕は日本の近代化と文化の調和について話したいと思います。皆さんは近代化と文化的定義を知っていますか?近代化は最新方法が適用され、現代に近い時代であり、一方文化はある社会が精神的働きと習慣により作り出したものを言います。



今日僕は料理と技術について述べたいと思います。最初は料理です。もちろん、日本料理というとやっぱり寿司、そば、ラーメンなどです。しかし、それよりもっと基本的なものとして魚、生物、お茶だと思います。日本はいつも進展していて、皆とても忙しくて、非常に賑やかな国です。だからこそ、早く便利な食生活が必要です。普通に考えれば早く便利な食事と言えばファーストフードではないでしょうか?しかし日本は日本の食べ物を応用して日本独自の食事スタイルを生み出しました。例え寿司弁当、インスタントラーメン、日本茶入りペットボ

場面であっても、和食がふさわしいのです。洋風料理は舌に喜ばしい、中華料理は胃にやさしい、日本料理は目に喜ばしいという英語のことわざがあります。これはなぜかといいますと料理において日本人が一番大事にするのは間違います。洋風料理は胃にやさしい、日本料理だけではなく弁当でもできるだけ見た目を良くしようとして、例えば高級料理の皿やコンビニ弁当の偽ササなどです。そのため日本料理は見た目によって日本らしさを發揮しているのです。

次は技術です。日本に来る前に僕は最先端技術をもっている国の人々はスマートフォンを着て最新スタイルの生活が当たり前だというイメージがありました。しかし日本では誰も日本の食事を楽しめます。ここではもう分かることいますが日本は現代のライフスタイルに合わせるために自分の食生活を工夫しています。もしちょっと時間を持つて行き、途中で立ち寄ったつぶしたい場合は、外国料理はもともとどこでもどんなに忙しくてでも気軽に様々な電子製品にふれることができます。たとえば、和風づくりの家の中に最新的のパソコンがあつて、ゆかたを着て花火大会にテレビ電話が可能な携帯電話を持って行き、途中で立ち寄ったときにテレビ電話が可能な携帯電話が不思議なことではありません。

様々な場面で最新技術が昔の文化と融合して発展しているのです。

2回目に寿司屋に行ったとき僕は「私の先生」がいました。なぜかとてもびっくりしました。なぜかといいますとその店では食べたい寿司を注文するときインター

林 婦婦 (リン・ティイティ、法学部1年、中国)	孫 馬謙 (マ・ケン、経営学部1年、中国)
「兵役と休学について」 家琪 (コウ・カキ、商学部4年、中国)	「忘年の交じり」 準鎬 (オ・ジョンホ、商学部1年、韓国)
「コイン文化について」 徐 静 (シュー・ジン、商学部1年、中国)	「兵役と休学について」 宇峰 (ゲン・ウホウ、政治経済学部1年、中国)
「愛の炎」 侯 鶯鶯 (リク・エンエン、経営学部1年、中国)	「愛の炎」 家琪 (コウ・カキ、商学部4年、中国)
「恋」 陸 玄 (ゲン・ウホウ、政治経済学部1年、中国)	「恋」 侯 鶯鶯 (リク・エンエン、経営学部1年、中国)
「私が見た日本の社会」 アルストロム・トビアス (商学部4年、スウェーデン)	「私の目で見た韓流ブーム」 徐 静 (シュー・ジン、商学部1年、中国)
「来し方行く末」私と日本人の触れ合いの足跡」 ハディアン・ソエタント (経営学部1年、インドネシア)	「言葉はそんなに大切ですか」 馬謙 (マ・ケン、経営学部1年、中国)
「感謝の気持ち」 陸 玄 (ゲン・ウホウ、政治経済学部1年、中国)	「感謝の気持ち」 馬謙 (マ・ケン、経営学部1年、中国)
【審査員特別賞】 杜 豔 (ト・イ・エイ、理工学部2年、中国)	【審査員特別賞】 馬謙 (マ・ケン、経営学部1年、中国)
「終わりがなき旅—逆境に屈しない」 劉妍 (リ・ケン、商学部1年、中国)	「終わりがなき旅—逆境に屈しない」 馬謙 (マ・ケン、経営学部1年、中国)
「李妍が出会った!~ありがとう明治~」 李惠正 (キム・ヘジョン、農学部2年、韓国)	「李妍が出会った!~ありがとう明治~」 馬謙 (マ・ケン、経営学部1年、中国)
「私の目で見た韓流ブーム」 劉妍 (リ・ケン、商学部1年、中国)	「私の目で見た韓流ブーム」 馬謙 (マ・ケン、経営学部1年、中国)
【聯合父母会長賞】 金宗戴 (ソウ・タイ、商学部2年、中国)	【聯合父母会長賞】 馬謙 (マ・ケン、経営学部1年、中国)
「ゼミは私の宝物」 金學淳 (キム・ハクスン、文学研究科 博士後期課程1年、韓国)	「ゼミは私の宝物」 馬謙 (マ・ケン、経営学部1年、中国)
「日本の落語」 張佳音 (チョウ・チャイエン、経営学部2年、中国)	「日本の落語」 馬謙 (マ・ケン、経営学部1年、中国)
【多文化賞】 陳慧玲 (チン・ケイレイ、文学研究科 博士後期課程1年、中国)	【多文化賞】 馬謙 (マ・ケン、経営学部1年、中国)

で直接注文しなければなりません。

なんりと受け入れて新しいイメージを創り出していると思います。

いうだけでもない踏台になった。

「新生商学部と国際交流の推進にむけて」

そのとき、2001年、僕は日本の文化と近代化の調和に初めて気づきました。考えてみればそのような融合によって日本の現代の新しい文化ができるのではないかところです。この現象は以前ありませんでした。

皆さん、日本人は自分の文化、習慣、スタイルをバッケボーンとして外からの影響もす

も面白いことだと思います。このような融合は自分の国、マレーシアでは実現されようとしているところです。この現象は以前ありませんでした。

皆さん、日本または日本人は自分の文化、習慣、スタイルをバッケボーンとして外からの影響もす

と考へてはいけません。日本のこのような文化をいつまでも大切にしているつもりも大いにあります。皆さんは、ご静聴ありがとうございました。

太さんによると今の日本のファッショングのシナリオもそうです。日本的选择は大正解、大成功だと思

います。文化と近代化は違うもの太さんによると今の日本のファッショングのシナリオもそうです。日本的选择は大正解、大成功だと思

一生忘れられない思い出の一つと

いうだけでもない踏台になった。

様々な人達と交流できるいいチャンスだった。第9回明治大学学長

杯留学生日本語スピーチコンテストで優勝してとても嬉しかった。

皆に心から感謝していますが特に

次の人達であるアドバイザー（吹上さんと和泉さん）、僕のことを応援してくれた2004年度夏期海外フランス語研修の参加者、2003年度電子通信工学科北見先生の通信システム研究室のみなさん。この経験をいつまでも大切にしたいです。

▼法医学部（4年）曾根一樹、高村実理、田中真之（3年）内藤隆仁、原田さとみ、吉永愛子（2年）石川亮太、谷村朋香、長谷川春▼商学部（3年）平野博文（1年）内丸剛郎、川島健太郎、権藤創史、

宮崎楓、横山恵美子、渡邊京惠▼政治経済学部（4年）櫻井まり子、藤井一徳、松野香、矢島詩帆（3年）篠田翔太郎、柴田隆司、安田佐紀（2年）石幡絵美子、川名康裕、島崎友理子、中道秀樹、前島慶子、諸田祐美、渡辺真樹（1年）伊藤康太、岩瀬貴史、野村美喜、蓮見洋平▼文学部（4年）和泉直樹、溝口えり、宮本雄介、山口裕子（2年）鳥海舞宏明、高橋充、多賀健太郎、森田慶一郎、渡邊英樹（3年）崎朋子、渡邊智子▼理工学部（4年）長瀬陽介（3年）姚磊▼農学部（4年）菜原孝範、原田昌人、宮下智（1年）武田祐平▼文学研究科（D1年）市原乃奈▼理工学研究科（M1年）中里卓夫

▲多くの提言が大学へなされた

商学部創設100周年記念フォーラム
「新生商学部と国際交流の推進にむけて」
に参加して

スピー・チコンテストを支えた学生コーディネーターのみなさん（日本語アドバイザー、開催準備、運営など）

◆その他受賞者のコメント

金 惠正（キム・ヘジョン）農学部2年・韓国

皆さんは、日本人は自分の文化、習慣、スタイルをバッケボーンとして外からの影響もす

ことは今までにない経験であり、これは今までにない経験です。

勢の人の前で話すチャンスを見つけています。このスピーチコンテストも募集記事を見てすぐに申し込みました。ベスト5に入れるよ

うにNHKの番組を見たり、アドバイザーと練習していました。私は本当に様々な人になつていて、とても不思議で楽しかったです。また、練習の時、一緒に頑張って下さったアドバイ

ザーとの交流と友情も非常に大事にしていきたいです。今回、多文化賞をもらったことは一生忘れられない思い出であります。みんなとも感動しました。『郷に入れば郷に従え』と思って、みんなで飲みに行き良い思い出を作りました。本当に楽しかったです。みなさんにも参加することをお勧めし

◆国際交流センター所長賞◆

金 学淳（キム・ハクスン）文学研究科博士後期課程1年・韓国（高麗大交換留学生）

今回の明治大学学長杯スピーチコンテストに出ようと思つたきっかけは留学する間に様々な経験をしたかったからです。4ヶ月の準備期間、私は一生忘れない思い出を作り、また、日本語の勉強にもすごく役に立ちました。スピーチ当日、支えてくれたアドバイザーや応援に来た友達のおかげで4ヶ月間少しずつ努力した私のスピーチを發揮することができます。

このようにNHKの番組を見たり、アドバイザーと練習して、みんなで飲みに行き良い思い出を作りました。本当に楽しかったです。みんなとも感動しました。『郷に入れば郷に従え』と思って、みんなで飲みに行き良い思い出を作りました。

ハディアント・ソエタント（ハディアント・ソエタント）経営学部1年・インドネシア

最初は、目立ちたかったのでスピーチコンテストに出ることにしました。実は俳優になることが私の夢なので、勇気を出して参加しました。これは俳優になるための最初のステップだと思います。

しかし、あまり準備をしていなかつたため、当日は私の言つていることがみんなにわかつてもらえないままでした。これは俳優になるための最初のステップだと思います。その結果、特別賞をいたたくことができました。これが俳優になるための最初のステップだと思います。

◆連合父母会長賞◆

李 雨儒（リー・ウジュ）経営学部1年・台湾

この現象は以前ありませんでした。この現象は以前ありませんでした。この現象は以前ありませんでした。

皆さん、日本または日本人は自分の文化、習慣、スタイルをバッケボーンとして外からの影響もす

ることは今までにない経験であり、これは今までにない経験です。

勢の人の前で話すチャンスを見つけています。このスピーチコンテストも募集記事を見てすぐに申し込みました。ベスト5に入れるよ

うにNHKの番組を見たり、アドバイザーと練習していました。私は本当に様々な人になつていて、とても不思議で楽しかったです。また、練習の時、一緒に頑張って下さったアドバイザーとの交流と友情も非常に大事にしていきたいです。今回、多文化賞をもらったことは一生忘れられない思い出であります。みんなとも感動しました。『郷に入れば郷に従え』と思って、みんなで飲みに行き良い思い出を作りました。本当に楽しかったです。みなさんにも参加することをお勧めし

◆多文化賞◆

金 学淳（キム・ハクスン）文学研究科博士後期課程1年・韓国（高麗大交換留学生）

今回のスピーチコンテストのテーマは落語であり、自分の專攻と非常に関係がある内容でした。落語を教えてもらつて稽古をしながら、

自分が一番嬉しいです。落語は一人で、色々な人の役割を演じるも

ので、練習をすればするほど自分

が何よりも自ら楽しく練習ができた

ことが一番嬉しいです。落語はしっかりと覚えておいた方がいいですね。落語はとても楽しかったです。今は商品券を何のため使うか迷っています。

相談室の窓から

小野正弘
(相談員・文学部教授)

この春から学生相談をしていて、今まで知らなかつたことや気づかなかつたことを多く学んでいる。まず思うのは、悩み事や心配事をかかえて相談室にやってくる学生たちが、実に純粹だということである。つまり、いい加減なところを妥協せずに、精一杯に現在と向き合っているということである。例えば、インチキな携帯電話のサイトを何の気

第一志望続々の人生

そのようなものを見てしまった責任があるのだから、その代価は払わなければならぬのではないか」と考える学生よりも悪ずれしているのではないかなどと思つたりする（もちろん、相手の業者は、そのような学生の純な気持ちにつけ込まれてあるから、実際に悪質であり、そこを「悪ずれ」した我々が

この春から学生相談をしていて、今まで知らなかつたことや気づかなかつたことを多く学んでいる。まず思うのは、悩み事や心配事をかかえて相談室にやってくる学生たちが、実に純粹だといふことである。つまり、いい加減なところを妥協せずに、精一

杯に現在と向き合っているといふことである。

想ひ出作りに一度は行こう♪♪ 春の厚生施設…

〈抽選申込〉

1. 抽選対象利用期間

2月1日(火)～3月31日(木)宿泊分

※上記期間内でも施設によって利用できない日があります。
掲示板等で確認してから申し込んでください。

2. 抽選受付：各地区学生課窓口に申込書を提出してください

1月12日(水)・13日(木)の2日間

※申込書は各地区学生課窓口で配付します。

3. 抽選結果発表：各地区学生課窓口にて

1月20日(木) 12:30～

※落選団体は1月20日(木)12:30以降、空室がある場合に先着順で申込を受付けます。

4. 本申込：当選した団体の代表者は、学生証を持参し、1月21日(金)までに本申込をしてください。

5. 抽選に参加しなかった団体の申込：各地区学生課窓口にて

1月21日(金) 12:30～

〈申込上の注意〉

※電話やメールでの申込・問合せには応じません。

※抽選後、空室がある場合は利用する10日前まで受付けます。

※申込みは1団体につき1件とします。重複・虚偽の申込みをした場合は全て無効とします。

〈利用料金表(本学学生)〉

(1) 本学施設(1泊2食付 税込)

施設名	宿泊料金=食事料金+利用料金
清里セミナーハウス	2,905円=2,205円+700円
山中セミナーハウス	2,605円=2,205円+400円
桧原湖セミナーハウス	2,555円=2,205円+200円 +入湯税150円
富士吉田寮・誉田寮	2,100円=2,100円+ 0円

(2) 契約施設

富岡町合宿センター 2,200円(1泊2食付 税込)

高原の想ひ出 清里セミナーハウス

山梨県北杜市高根町／収容人数(100名)



豊かな自然環境に恵まれた清里の森に隣接する、本学最大規模の厚生施設。勉強に疲れたあとで雪景色を眺めながら入るお風呂は最高! /

雪国と温泉の想ひ出 桧原湖セミナーハウス

福島県耶麻郡北塙原村／収容人数(64名)



体育館、研修室も完備。氷の張った桧原湖では名物ウカサギ釣りが楽しめる! 寒くなったら自慢の天然温泉につかってのんびり、リラックス。猫魔スキー場への無料送迎もあります。

スポーツの想ひ出 誉田寮

千葉県千葉市／収容人数(54名)



サッカー場1面、野球場1面、バレー場1面と、スポーツ施設が充実しています。思いっきり動いて寒さを吹き飛ばそう! ※テニスコート6面は3月中旬まで霜のため利用できないことがあります。

湖畔の想ひ出 山中セミナーハウス

山梨県南都留郡山中湖村／収容人数(100名)



山中湖のほとりの唐松林に囲まれた、閑静な立地のセミナーハウスです。観光名所や美術館も合宿のオプションに盛り込んでいます。

富士山の想ひ出 富士吉田寮

山梨県富士吉田市／収容人数(36名)



グランドで雪上サッカーもよし、足を延ばして富士急ハイランドのスケートリンクで滑りまくるよし。寮までの道のりは、真っ白で美しい日本一の富士山を眺めながらどうぞ。

海の想ひ出 富岡町合宿センター(契約施設)

福島県双葉郡富岡町



各種スポーツ施設がそろっています。ログハウス風の建物がとってもいい味出します。懐かしいような温かいような雰囲気で、行けばきっと満足です。



乗竹孝太郎

明治法律学校では創立当初から経済学がおかれていった。経済学講義最初に担当したのは、フランス人御雇外国人のジョルジュ・アペールである。その後、一八八二(明治一五)年一〇月からは小池靖一に経済学講義が引き継がれた。

乗竹は田口卯吉の出身校でもある尺振八の共立学校を卒業し、経済雑誌社の創業期に田口を助けた。一八八八年には横浜正金銀行に入行し、以後一八年間の銀行員生活を送った。田口の死後は再び経済雑誌社に復帰し、『東京經濟雑誌』を主宰して自由主義の論陣をはつた。乗竹は銀行家、雑誌編集者といった経験をもつと共に、多くの訳書・著書を残した。訳書にはダインシング・マクレード『銀行論』Hスペンサー原著『社会心理学之原理』『單複本位貨幣論集』がある。また、明治法律学校での講義をまとめた『理財学講義』(歴史編、原

大学史の散歩道

大学史資料センター委員

秋谷 紀男 (政治経済学部教授)

さらに、小池の後を受けて一八八五年一月から経済学および理財学を担当したのが乗竹孝太郎である。乗竹は田口卯吉の出身校でもある尺振八の共立学校を卒業し、経済雑誌社の創業期に田口を助けた。

一八八八年には横浜正金銀行に入行し、以後一八年間の銀行員生活を送った。田口の死後は再び経済雑誌社に復帰し、『東京經濟雑誌』を主宰して自由主義の論陣をはつた。乗竹は銀行家、雑誌編集者といった経験をもつと共に、多くの訳書・著書を残した。訳書にはダインシング・マクレード『銀行論』Hスペンサー原著『社会心理学之原理』『單複本位貨幣論集』がある。また、明治法律学校での講義をまとめた『理財学講義』(歴史編、原

明治法律学校と乗竹孝太郎

かし、有賀長文が兼任講師に採用された一八八九年頃からドイツ経済学・財政学が紹介され、

さらに金井延、

論の正当性を強く訴えた。

乗竹の経済学、理財学、財政学に関する講義は一八九七年頃まで

主に賀長文が一八八九年頃まで

主要著作を纏めた『讀書堂遺稿』四

巻(経済学、貨幣論、銀行及貿易、

財政論)が公刊されている。

乗竹は一八八五年(明治一八)年

九月の時点では、経済学を担当し

いたが、一八八六年に行政学科

が新設されると経済学、理財学、

財政学共に彼が担当した。明治法

律学校は法律学科と行政学科の二

学科制になったため、教科の増設

が行われたのである。乗竹の経済

史編では、中世の経済学を概観し

た上で近世近代の英國、フランスの経済学を中心概説した。さ

らに、『理財学講義』原理編にお

いては、第一章に「経済学ハ何ヲ

講スル学ナル乎」をおき、「絏

学ハ人々ノ嘗利上理財上ノ関係ニ

就キテ論スルモノナリ」と述べて

いる。乗竹はイギリス経済学者の

なかでも自ら翻訳したマクラウド

(訳書ではマクレード)を重要な

人物として取り上げ、マクラウド

の理論に依拠してドイツ経済学に

ついて批判を加えた。また、横浜

正金銀行に長く勤務し役員まで務

めた乗竹は、複本位制度支持の立

場で論説を発表し、『東京經濟雑

誌』主宰となつた頃には自由貿易

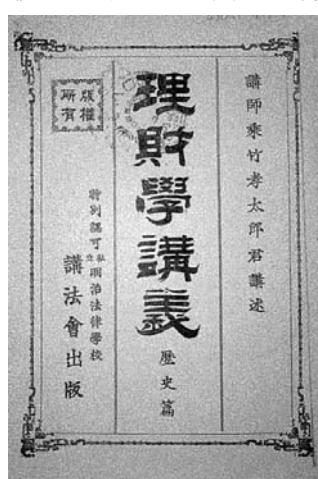
経済などの自由主義経済思想の影

部屋探し相談会 開催

第1回 2004年12月13日(月)~12月23日(木)

対象学部	紹介会場	紹介時間	連絡先
法学部・商学部・政治経済学部・文学部・経営学部・情報コミュニケーション学部	和泉校舎 第一校舎1階 ラウンジ ※12月19日(日)のみ 体育館多目的ホール	10:00~ 17:00	株学生情報センター 吉祥寺店 0120-177-490
	駿河台校舎 リバティータワー1階 ラウンジマロニエ	10:00~ 18:00	株学生情報センター お茶の水店 0120-749-003
理工学部・農学部	生田校舎 スクエア21 1階	10:00~ 16:00	株学生情報センター 町田店 0120-749-050

- 相談会は土曜・日曜・祝日も開催しています。
- 文系学部は2会場ありますが、和泉校舎の会場では和泉校舎に通学しやすい物件を、駿河台校舎の会場では駿河台校舎に通学しやすい物件を中心に紹介します。
- 会場では学生証を必ず提示してください。
- 第2回部屋探し相談会は2005年2月20日(日)~3月27日(日)に和泉校舎・生田校舎で行います。



乗竹孝太郎著書

